

取組事例  
施策 3

# 災害に強い 道路ネットワークの構築



① 取組事例  
三原市における防災・減災に資する道路整備

**第一次緊急輸送道路の機能強化を図り、  
発災時にも迅速・適切な初動体制を  
確保します。**

三原市北部地域や世羅町とを連絡する緊急輸送道路の機能強化や、最寄りの災害拠点病院への救急搬送ルートの機能強化を図ります。

**三原市中心部と周辺市町等をつなぐ  
多重型道路ネットワークの機能を強化し、  
発災時における影響を最小限に抑えます。**

(主) 三原東城線は地形特性から過去にも落石等の災害により通行止が発生しています。このため、災害等により当該区間が通行止めとなった際にも代替ルートが確保されるよう道路整備を推進します。



災害拠点病院



興生総合病院

三原赤十字病院



過去11年間で6回の  
災害規制が発生

(主)三原東城線(三原市八幡町)H25.3に発生した崩落により4日間全面通行止となった。



法面危険箇所  
に落石対策を実施

(主)三原東城線(八坂)要対策箇所法面の状況



狭隘・線形不良  
区間解消

(一)三原本郷線(大西)

取組事例①の事業箇所概要

路線名	概要
(主) 三原東城線(三原市八坂)	N=2箇所(法面災害防除)
(一) 三原本郷線(三原市大西)	L=約2.2km, W=6.0(9.25)m(2車線)

W=車道幅員(歩道等を含む全幅員)

② 取組事例  
大竹市における防災・減災に資する道路整備

**県境を越えて大竹市と岩国市との連携を強化する国道2号岩国・大竹道路の整備や  
国道2号の現道区間における老朽化した橋梁の架け換えを行い、災害に強い県土づくりに努めます。**



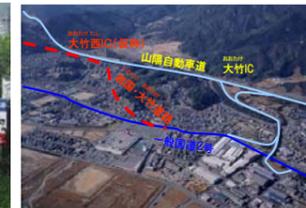
広島県大竹市から山口県岩国市までの国道2号には主要渋滞箇所が点在しており、国道2号岩国・大竹道路を整備することで、主要渋滞箇所を回避したルート選択が可能となり、移動時間の短縮と定時性の確保が期待出来ます。

また、大竹市・岩国市の国道2号の大部分は大規模地震による津浪浸水想定区域内にあるため、岩国・大竹道路の整備により災害対応能力の向上に努めます。

一般国道2号の広島県と山口県の県境に位置する栄橋は建設後80年以上が経過し、老朽化が進んでいます。そのため、新たに大規模地震にも対応した構造に橋を架け替えることで、より安全で信頼性の高い緊急輸送道路となるよう機能強化を図ります。



国道2号の渋滞状況



国道2号 岩国・大竹道路



国道2号 栄橋  
老朽化した橋梁を架け換え



国道2号栄橋撤去前の橋梁  
(昭和17年3月竣工)



災害拠点病院



岩国医療センター

取組事例②の事業箇所概要

路線名	概要
(国) 2号 岩国大竹道路 (広島県大竹市小方1丁目~山口県岩国市山手町)	L=9.8km(暫定2車線), 完成4車線の場合 W=14.0(19.5~20.5)m
(国) 2号 栄橋 (広島県大竹市南栄~山口県玖珂郡和木町和木)	L=0.4km, W=9.5(18.0)m(橋梁架換1橋)

W=車道幅員(歩道等を含む全幅員)